

校長だより

福津市立福間東中学校
校長 猪股 清貴
平成 28 年 10 月 21 日 No36

マグニチュード 8 の大地震に襲われたら・・・ ～防災学習の大切さ～



福津市の下には宗像市沖ノ島の南方の玄界灘から、福津市津屋崎を経て朝倉郡東峰村及び朝倉市に至る西山断層という活断層が走っています。政府の地震調査研究本部のホームページには将来の地震の活動の確率は不明としながらも次のような予測が示されていました。

【予測 1】大島沖区間は全体が 1 つの区間として活動した場合、マグニチュード (M) 7. 5 程度の地震が発生する可能性があります。その際、左横ずれを主体として 4 m 程度のずれを生じる可能性があります。

【予測 2】西山区間は全体が 1 つの区間として活動した場合、M7. 6 程度の地震が発生すると推定されます。その際、左横ずれを主体として 4 m 程度のずれを生じる可能性があります。【予測 3】西山断層帯の複数の隣接する活動区間が同時に活動する可能性は否定できません。このような中で最大の地震は西山断層帯の全ての活動区間が同時に活動する場合であり、その際に発生する地震の規模は M7. 9 - 8. 2 程度である可能性があります。

地震をはじめとする自然災害はいつ起こるか分かりません。だからこそ、備えが大切です。いざ災害が起こった時に頼りになるのは、確実に地域で生活している中学生だと言われています。本校では毎年この時期に防災学習を行っています。学年の学習テーマは

- 1 年生：「地域の危険個所について考える」
- 2 年生：「災害時の避難所生活で中学生ができることを考える」
- 3 年生：「避難所ゲームを通して災害時に自分は何ができるか考える」です。



紹介している写真は 3 年生が HUG (H 避難所・U 運営・G ゲーム) を通して災害時のシミュレーションをしている様子です。この授業は福間地区郷づくりの安心安全部会の方々に御指導いただきました。実際に福間東中学校が避難所になったら・・・被災者が次々に中学校に来られます。被災者の中にはいろんな方々がいらっしゃいます。支援物資も次々に運び込まれます。さあ、あなたが避難所を運営する立場だったらどうし

ますか？生徒は真剣そのものです。まず、体育館に通路をどう作ろうか。ペットと一緒に避難してきた方はどこに行ってもらおうか。車いすのお年寄りの家族はどの場所が一番楽かな。仮設のトイレが搬入されました、さあどこに設置しようか。次々に被災者が来られます。もたもたしてはいられません。あなたならどう運営しますか？最後に講師の先生はこうおっしゃいました。正解はありません。だからこそ、万が一に備えておかねばならないのです。



